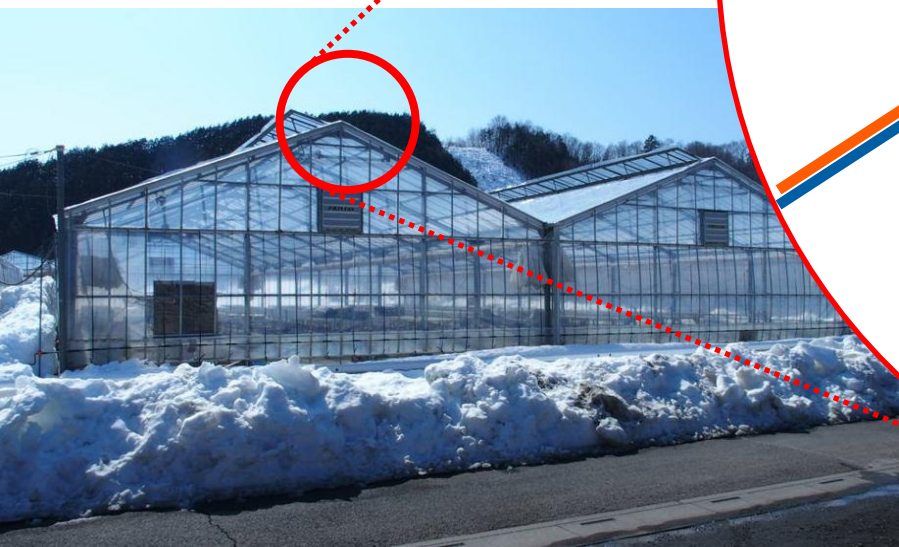


実証試験① 屋根上散水型の融雪設備

散水による除雪・融雪
は、積雪を防ぐ目的で
積雪前から行うことは有効。

しかし、積雪後に行う
と水を含んで雪の重量
が予想外に増大し、施設
の倒壊を引き起こす
可能性があるので実施
しないようにする。



散水設備
資材の検討
(道路用融雪ホース？
かん水チューブ？
散水チューブ？)



温湯ボイラー
と接続
緊急時に切り替
えられる配管

屋根面

- ◎その他の検討事項
- ・排水対策どうするか？
 - ・設置位置はどこが良いか？
 - ・温湯の温度？ …等

実証試験② 温風暖房機のダクトを活用した谷部加温による融雪設備

普段はカーテンの下を暖房で暖めるが、**降雪時には、カーテンの上のみに温風を集中させ積極的に谷部を加温して雪を溶かす。**

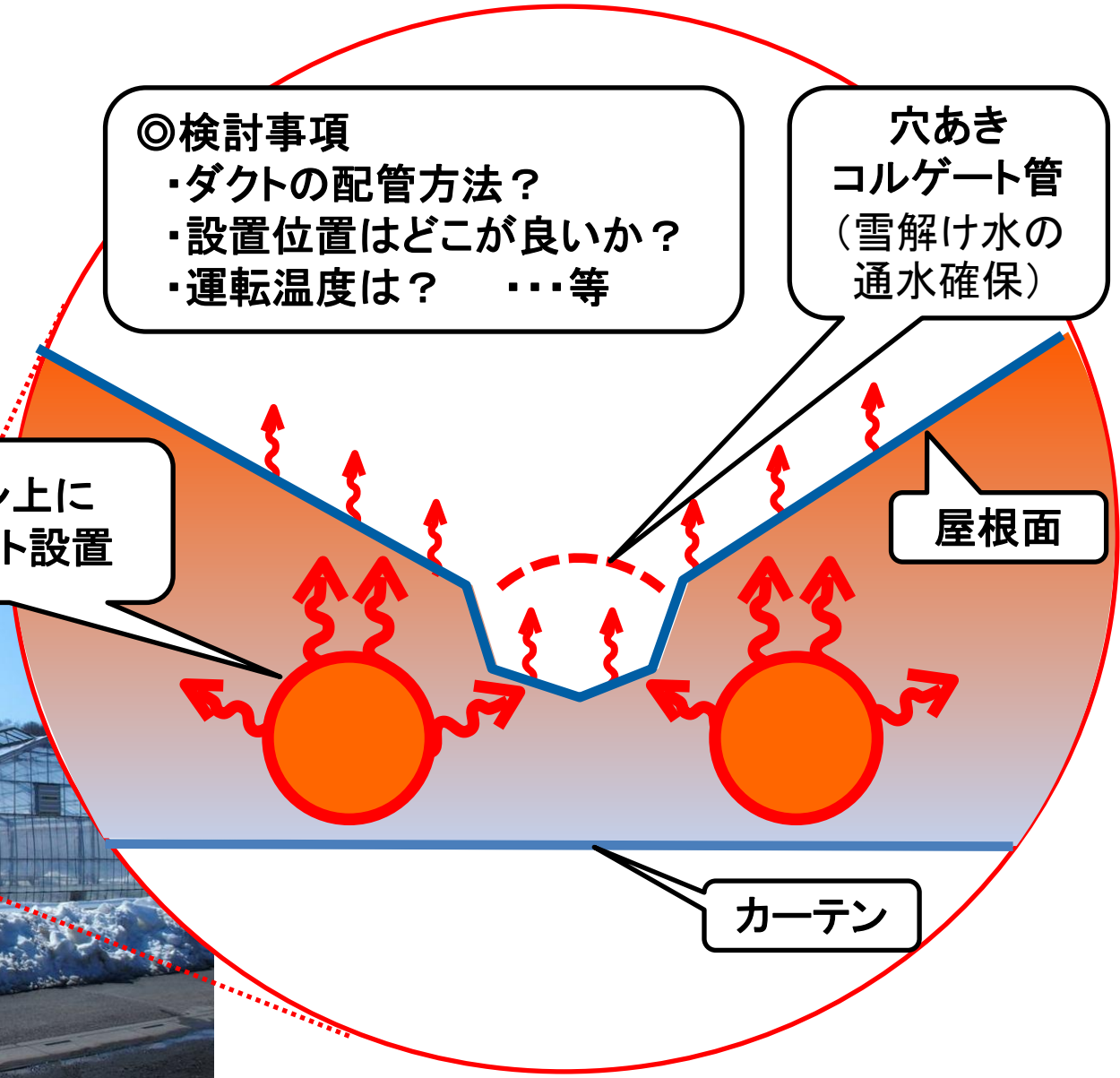
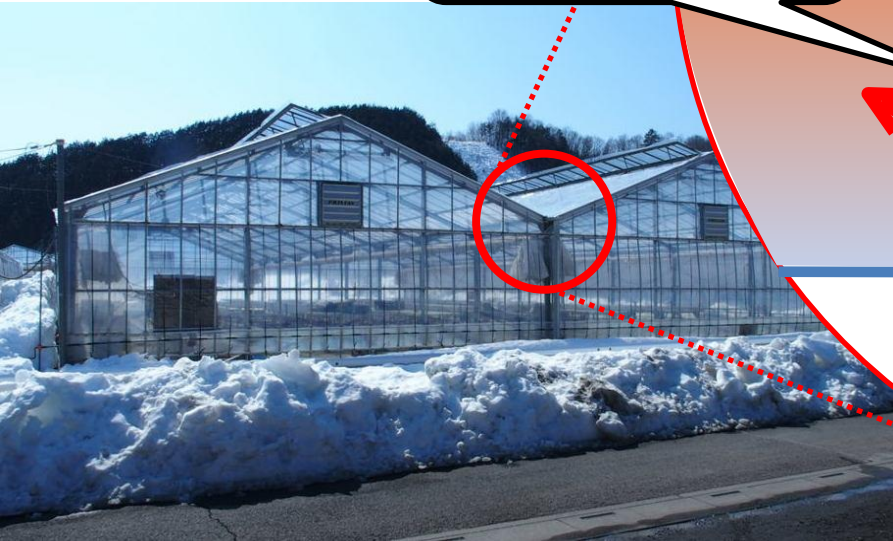
- ◎検討事項
- ・ダクトの配管方法？
 - ・設置位置はどこが良いか？
 - ・運転温度は？ …等

穴あき
コルゲート管
(雪解け水の
通水確保)

カーテン上に
温風ダクト設置

屋根面

カーテン



実証試験③ 電熱資材を活用した 谷部加温による融雪設備

◎検討事項

- ・電熱資材は何が良いか？
(農電ケーブルまたはシート状ヒーター)
- ・設置位置はどこが良いか？
(桁のC形鋼に設置？)
- ・運転温度・設定は？ …等



温床線

